

(動物用医薬品) [指定・要指示] [使用基準]

マクロライド系抗菌剤

チルミシン[®]散 2%

(チルミコシンリン酸塩準散) **TILMICIN[®] Powder 2%**

チルミシン[®]散 5%

(チルミコシンリン酸塩準散) **TILMICIN[®] Powder 5%**



特 長

01

改善された飛散性

飼料に混合する際の飛散が少なく、調整し易くなりました。

02

優れた組織移行性

肺をはじめ各臓器に優れた移行性を示します。

03

免疫細胞への高い浸透性

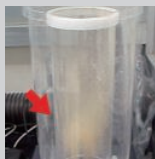
チルミコシンはマクロファージ等の免疫細胞に高濃度に取り込まれるとともに、感染部位にこれら免疫細胞が遊走することにより、高い治療効果が期待できます。

bah 物産アニマルヘルス

TILMICIN[®] Powder

01 改善された飛散性

「流動性」と「噴流性」が低いということが飛散性が改善されていることの指標となります。

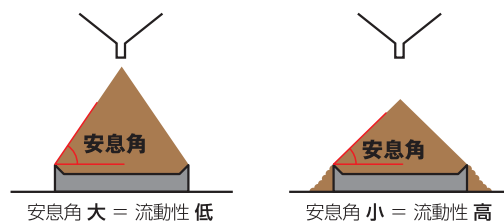
	チルミン®散2%	他社製品 A	他社製品 B
流動性 安息角	55.9°	45.9°	49.5°
噴流性			
			
分散度	7.7%	8.0%	8.1%

物産アニマルヘルス(株) 社内資料

流動性

物体がサラサラと流れやすい性質。

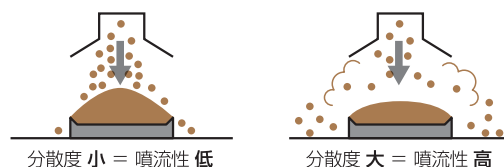
安息角が大きいものほど、しっとり感があり、流動性が低く、飛散しにくいとされています。



噴流性

落下時に空気を抱き込み飛散しやすい性質。

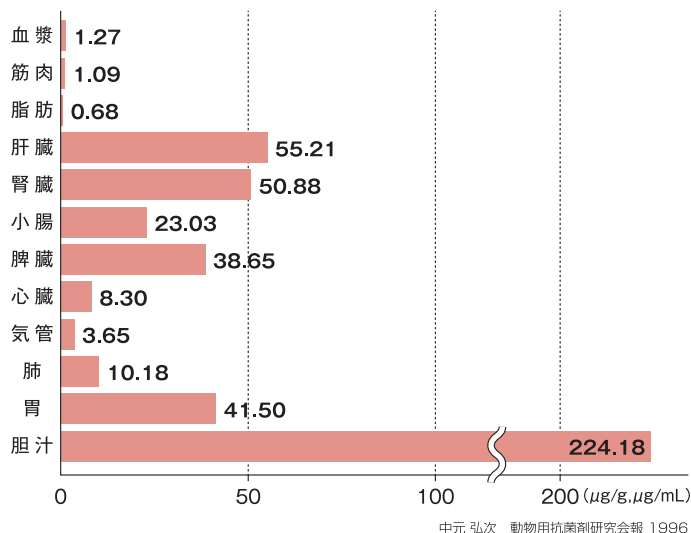
分散度の値が小さいものは散らばりにくく、下においた一定直径の皿の外に飛散する薬剤が少ないことを示します。



$$\text{分散度}(\%) = \left(\frac{\text{皿の外に飛散した試料量}}{\text{投入試料量}} \right) \times 100$$

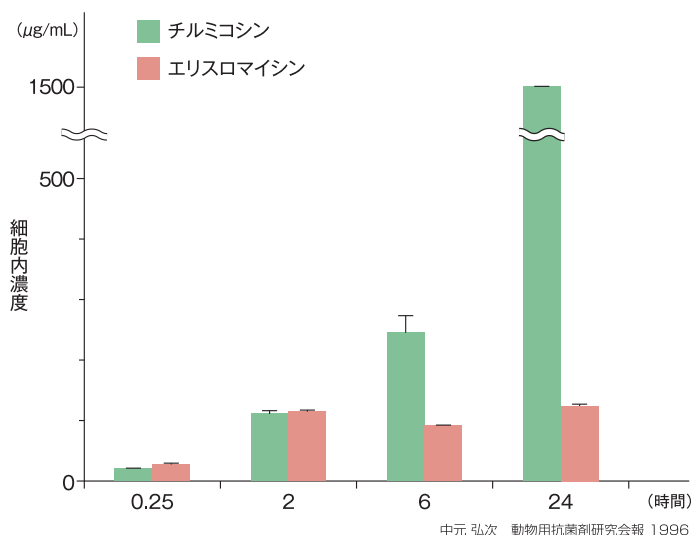
02 優れた組織移行性

チルミコシンとして50mg/kg単回強制経口投与2時間後の組織内濃度(豚)



03 免疫細胞への高い浸透性

豚肺胞マクロファージ内へのマクロライド系抗生物質の取り込み試験成績 (20 μg/mLの抗生物質含有培養液中で培養)



チルミン®散 投与早見表

飼料1tあたりのチルミコシンリン酸塩の投与量(力価)

	50g	100g	200g
チルミン®散2%の添加率	0.25%	0.5%	1.0%
チルミン®散5%の添加率	0.1%	0.2%	0.4%

成分及び分量

チルミン®散2% 1g中に、チルミコシンリン酸塩をチルミコシンとして20mg(力価)含有する。
チルミン®散5% 1g中に、チルミコシンリン酸塩をチルミコシンとして50mg(力価)含有する。

効能又は効果

有効菌種 アクチノバシルス・ブルロニューモニエ、マイコプラズマ・ハイオニューモニエ、
パスツレラ・ムルトシダ
適応症 豚：肺炎

用法及び用量

飼料1t当たりチルミコシンリン酸塩として下記の量を均一に混ぜて、7日間経口投与する。
豚：50～200g(力価)

包装

チルミン®散2% 20kg(ポリエチレン内装クラフト袋)
チルミン®散5% 20kg(ポリエチレン内装クラフト袋)

使用禁止期間 豚：食用に供するためにと殺する前4日間

●本剤の使用に際しては、クラフト袋に記載された使用上の注意等をよくご確認下さい。

製造販売元

物産アニマルヘルス株式会社

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2-5-7

5766LS